

参考： デジタル田園都市国家構想（推進） 交付金の採択事例

「スマートスピーカーを活用した『郵便局のみまもりサービス』」は、「デジタル田園都市国家構想（推進） 交付金 デジタル実装タイプ（TYPE1）」において、令和3年度補正予算では、4自治体（大阪府河内長野市、鳥取県米子市、鳥取県日吉津村、愛媛県宇和島市）、令和4年度第2次補正予算では、2自治体（千葉県勝浦市、岐阜県恵那市）が採択されました。

鳥取県日吉津村

- 災害時における住民の安否確認を実施。また、県の防災情報をスマートスピーカーに送信して、防災への意識向上を図る。
- 実施期間：2023年2月～

千葉県勝浦市

- スマートスピーカーを通じた体調把握など見守り体制の強化を実施。また、市からの情報配信体制の整備、遠方で暮らす家族との繋がりに活用して高齢者に安心した生活の提供。
- 実施期間：2023年10月～

岐阜県恵那市

- 対象地域の住民宅にスマートスピーカーを設置。行政情報のタイムリーな提供、体調把握並びに災害時の安否確認が取れる体制の整備。
- 実施期間：2024年3月～

各自治体の導入事例



大阪府河内長野市

- 住民の介護予防を図るため、スマートスピーカーを通じた体操動画配信や体重・血圧等のヒアリングを実施。
- 実施期間：2022年8月～

愛媛県宇和島市

- スマートスピーカーを活用した郵便局のみまもりサービス、タブレット端末を活用したオンライン診療・オンライン服薬指導のサポートを実施。
- 実施期間：2022年12月～

鳥取県米子市

- 住民の健康増進を図るため、スマートスピーカーを通じた体操動画配信や体重・血圧等のヒアリングを実施。
- 実施期間：2023年1月～

サービスは、参考事例集（令和3年度補正予算）にも掲載されました。採択事例等は、以下のサイトに掲載。

地方創生 > 施策 > 地方創生未来技術支援窓口 > デジタル田園都市国家構想交付金（デジタル実装タイプ）

